

平成26年度教育研究活動報告書

氏名	林 直樹	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経済学）	職位	講師
専門分野	経済学説史・社会思想史		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学部	経済学史 日本経済論 現代の経済学 外国書講読Ⅱ 専門演習Ⅰ 基礎演習Ⅰ		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
（1）〈著書〉林直樹『デフォーとイングランド啓蒙』京都大学学術出版会（2012年6月）			
（2）〈論文〉林直樹「ミシシッピ・バブル後のブリテン」（坂本・長尾編『徳・商業・文明社会』京大出版会、2015年3月）			
（3）〈論文〉林直樹「デフォーと合邦のレトリック」『経済学史研究』第53巻第1号（2011年7月）			
（4）〈論文〉Naoki Hayashi, Defoe and the Principle of Trade, <i>The Kyoto Economic Review</i> , vol. 79, no. 1 (2010)			
（5）〈その他〉林直樹「ヘンリ・ベーカー『宇宙』」『調査と研究』第38号（2012年10月）			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
（1）〈著書〉林直樹『デフォーとイングランド啓蒙』京都大学学術出版会（2012年6月）			
（2）〈論文〉林直樹「ミシシッピ・バブル後のブリテン」（坂本・長尾編『徳・商業・文明社会』京大出版会、2015年）			
（3）〈学会発表〉林直樹「イングランド啓蒙」社会思想史学会第39回大会（2014年10月26日、於明治大学）			
（4）〈その他〉林直樹「鈴木康治『消費の自由と社会秩序』書評」『経済学史研究』第55巻第2号（2014年1月）			
（5）〈その他〉林直樹「ヘンリ・ベーカー『宇宙』」『調査と研究』第38号（2012年10月）			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）ダニエル・デフォーの社会・経済・政治思想			
（2）初期近代ブリテン社会思想史（17世紀から18世紀まで）			
（3）1710年代ブリテン社会思想の同時代言説史的考察			
研究テーマの進捗状況	デフォーならびに周辺人物の研究を継続中。年度内には刊行が間に合わないが、論文1編を執筆し、他に依頼原稿2編と英書翻訳（共訳）を仕上げた。それぞれ来年度中に公刊される予定である。なお、本年度から平成28年度までの3年間、日本学術振興会の科学研究費助成事業にかかる補助金（若手研究B）を研究代表者として受領するが、その研究計画には、毎年少なくとも1編の論文執筆、および1度の学会報告実施を盛り込んでいる。初年度の進捗は上々と言え、引き続きこのペースを保ちつつ着実に成果を上げていきたい。		
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
経済学史学会・社会思想史学会・日本イギリス哲学会・史学会（「公益財団法人史学会」に新規入会）			